

俳句を写真画像と共に楽しむ

写楽句会

しゃらくかい

平成29年10月31日発行 022
 投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com
 © 2017 Sharakukai

写楽句会初！読者さん出題の神無月号をお送りします。

南東スペインにお住まいのNGさんから、頂いたお題は「実り」（秋の季語）。

俳句のカット写真も頂きました。

読者さんからの兼題提案は随時受け付けています。ご遠慮なくお寄せ下さい。

写真俳句



1 これはなに子供手がでる秋の実り



2 大振りの里芋抜けば身は小振り

里芋の葉っぱはご存知の通りとても大きいのですが、掘ってみればまだまだ 小さくて……



3 一陣の風に煌めく稲穂波

黄金の稲畑を見ると正に実りの秋ですね。



4 山畑や今や盛りの蕎麦の花

段々畑はいつも何かしら収穫されています。



5 店先に秋の実りが鎮座せり



道端の実り
輝く闇の粒

6 道端の実り輝く闇の粒

ブラックベリーです。5字2行に置き、
5・7・5ではなく、8・9で詠みました。



んめえから
食ってみでけろ
らふらんす

7 んめえから食ってみでけろらふらんす

ラフランスの産地、山形・上山市の農家の方
が方言豊かに話してくれたのが思い出に
残る。

俳句



撮影者、NGさんのことば：

この野菜たちは友人の家庭菜園の実りです。
左上に丸茄子と大型苦瓜。小籠の超小粒球も
茄子です。右手の真ん中はジャンボオクラです。

1 天災や害獣逃れ秋実る

じゃがいも

2 馬鈴薯にバターがとろり顔とろり

ホクホクのジャガバターは旨し。至福の時。

3 秋夕焼け豊かな実り予感させ

長雨の後の夕焼けは本当に心を落ち着かせてくれます。

4 限りなくりんご水玉津軽富士

青森・岩木山の麓のアップルロード。見渡す限りりんご畑が続く。

5 畑道収穫おわりこぬか雨

6 夕暮れ^{はさ}の稲架の黄金はモネの色

モネの「積み藁」を思い出しました。

7 刈入れし畑の広きに迷う風

刈り取りの終わった畑の空間は広く見える。

短歌

パソコンを教へし息子今はプロ不具合起きて帰宅待ち侘ぶ 準坊

「老いては子に従え」です。嬉しくも有り、悲しくも有り。

川柳

準坊 政治家は自己保身がいの一番
情けなや気概の無き離党議員

今回の衆議院解散で一言。
自身の生き残りだけを考えるみっともなき
愚か者達に喝！

池福楼 食欲の秋にまつわる川柳投稿です。

松茸のケタを間違えすぐ戻し
脂肪（サシ）見事A5ランクの我がお腹
元とるといって医者行く食べ放題

29年9月「まつり」（出題者：千泉）の作品と投票結果

「*」付きは読者からのコメントです。

写真俳句の部 総投票数：13

二席

祭あと闇に残りし月しづか

準坊（8票）



花火まつりの帰り、賑わいの後の月を詠みました。
写真は今年の荒川の戸田花火です（作者）。

- * 月も花火見物していたのですね。
- * 花火まつりの後の静かさ、虫の音が聞こえてきそう。
画像効果としては句は右側に置いて、月の下の
スペースは開けておいたほうが良いのでは？
- * 動と静、美しい句ですね。
- * 月が花火に負けてないですね。
- * 月と花火の対比が、句、写真ともいいですね。
- * 花火が終わった闇の中に残った月。風情がありますねえ。
写真も素晴らしい。

秋天を丸ごと呑まんビアフェスタ 北切雀（6票）



グラスに空が逆さに入っていました。
参加者約1名のおうちビアフェスタ（作者）。

- * なかなか面白い作品です。句の位置が少し残念。
- * 写真が活きてる！！ まるでポスターのようでもあり、インパクト大です。たとえ一人の祭りでも満足・満足でしょう。
- * 画面いっぱいのビアグラスに映り込む秋空が面白い効果を上げている。庭先での一人フェスタもいいものですね～
- * 発想が自由でいい 見習いたいです。



老いた身の血潮揺するや祭りの音 沈丁花（6票）

太鼓と鉦と踊り手たちの囃子声にテンション
上がりました（作者）。

- * 抑えきれない興奮がビンビン伝わるぶれが効果的。
- * お祭りの踊りは老いてなくても誰でもすごく興奮しますー。エネルギー溢る踊り手達から、いい刺激いっぱいもらって元気になれます。
- * 老若男女の笑顔をいきいきと写しこんでいる画像が手ブレ効果でアクティブ。血潮揺するのは作者だけではないですね。
- * 年齢を重ねても昔から馴染んでいる祭りの音同感です。
- * 祭りの雰囲気、老いた身の血潮が騒ぐという句と、写真のちょっとピントがずれているところにかえて躍動感があって面白いと思いました。

峰近し（順不同）



出遅れた蟬があわてる秋まつり 梵木

- * わっわっわ！これはセミでなくとも慌てます。楽しさに溢れる作品。
- * このドーム知ってます。移動式でイベントやコンサート等で使うヤツですね。
- * まつりの大きなオブジェと小さな蟬の対比が句として面白い。このオブジェが巨大な蟬にも見えてくる。
- * 移動式の会場 ニュースで目にしました。出遅れた蟬があわてるとは面白い。
- * 何のお祭りかしら？ 大きなドーナツ？ 静かに終わろうとしているのに蟬も慌てますね。



輪の中へ手振り合わせて盆踊り 久芽

手を振っていれば踊れちゃう（作者）。

- * 右端の方の袖の動き！ノリノリですね。上5の「輪の中へ」で即その場に引き込まれました。
- * 最近では周辺の騒音苦情でイヤホンを着けて無音の盆踊りもあるとか...時代は変化する。
- * そう、そのとおり。
- * 提灯のあたたかな色の背景の写真に、和気あいあいとした句があります。



じゃんがらと太鼓で山車に力湧く 千泉

「じゃんがら」とはお囃子の鉦の事です（作者）。

- * 勇壮で力強い山車行列ですね。
- * 九州や福島にも伝わる郷土芸能。盆の豊年踊りの賑やかさを臨場感と力強い句で伝えています。



渡御発ちて人の寂しき屋台かな 池福楼

少子高齢化の影響か祭りの賑わいも
年々さびしくなる（作者）。

- * 原色がかえって寂しさを醸し出している中、懐かしい匂いが漂って来ます。

俳句の部 総投票数：13



「戸畑祇園大山笠にて」

千泉撮影

二席

祭りの日鼻に一本白を引く 北切雀（7票）

子供の頃、新しい浴衣で鼻におしろいの一線、が祭りの日でした（作者）。

- * 今はあまり見かけなくなりましたが昔は確かにいましたね。
- * あのメイクはいったい何だったのだろうか。
- * 一本線は神の代理人となれるお化粧とか。子供には晴れの舞台ですね。
- * 作者のコメントは今も続いていますね。
- * 鼻に白く線を引くのは何か意味があるのかな。
- * 鼻に白を引くというところに目をつけたのがユニークですね。でも納得。子どもの頃を思い出しました。

風の道たどりにて聞ゆ祭り笛 準坊（7票）

7/8

祭囃子、特に笙の笛の音色に心が和みます（作者）。

- * 間近のお祭りもいいですけど、どこからともなく流れて聞こえてくる祭囃子にはなんだかそわそわ興味をそそられます。
- * 街中を吹き抜ける笛の音は初秋の訪れと郷愁の心を揺らす。
- * 遠くても祭りの音は聞こえますね それが風の道なのかしら
- * これも、とても実感できる句です。山車の囃子が近くなったり遠くなったりした記憶がよみがえりました。

佳作

山車来たり二階の窓に一目散 久芽（5票）

もう直山車が来る。急いで2階に（作者）。

- * 家でお祭りの山車が見られるなんて最高じゃないですか。でも油断してると通り過ぎちゃいますね、急ぐ様子が目に浮かびます。
- * この句にはまったく共感。山車を引く人々が我が家に近づいてくるワクワク感を良く表現している。
- * お祭りの高揚感がよく出てますね。
- * ダダッと階段を駆け上る様が浮かびます。

しっかりと山車につかまる子ら愛し 千泉（5票）

一番前を歩く子供達の姿が可愛かった（作者）。

- * 神輿の後に子供達の引く山車はまたいいもんですね。
- * 山車を引く（綱につかまる）子の姿は何か誇らしい。誰しも子供の頃の祭景色が甦る。
- * 子供の必死さが伝わってくる可愛らしい句です。

峰近し（順不同）

台風といっしょに祝う秋まつり 梵木

- * 台風で祭りが延期にならないように。
- * 月に叢雲の如く、好事に邪魔はつきもの。荒天も楽しんでみるゆとりの心ですか？
- * 最近、祭りの時期に台風がよくあたりヒヤヒヤします。

朝の広場櫓解体祭り終う 沈丁花

紅白の布が巻かれた盆踊りの櫓が無くなり昨夜の賑わいが夢のよう（作者）。

- * 祭りの後は寂しさが残りますね。
- * 「祭の後の寂しさは・・・」とタクロウも歌ってました、その昔。
- * 祭りの後はいつも夢の跡。何事も無かったように日常に戻る...

落蟬や社（やしろ）に流る祭り笛 池福楼

街のBGMは蟬の声から祭囃子へと変わる（作者）。



秋天を丸ごと呑まんビアフェスタ

北切雀

推薦者：NG

* ナイスショット!

短歌

聞き慣れぬ地鳴き気になりカメラ手に外視くれば早翔び立ちて 準坊

最近では鳥が良くやってくるのでバードウォッチングしてます（作者）。

* 作者の小鳥や自然に鋭敏な感覚が素晴らしく、それを素直ににまとめ上げた短歌に感心します。

川柳

準坊 米・朝のチキンレースの愚かしき

毎日話題に事欠かない米朝問題。困ったもんだ（作者）。

* チキンレースの果てが本物の衝突にならないように祈りたい。

沈丁花 取り忘れ教えてくれる新レンジ

取り出しを促す時はピが2回

チンと鳴り後はほっとく古レンジ

呼ばないで別の用事で忙しい

電子レンジを買い替えました。古レンジが懐かしい（作者）。

* 沈丁花さんの川柳には生活感溢れて楽しいですね。レンジだけがテーマでいろいろな川柳が出来るものですネ。

* 霜月11月の兼題は準坊さん出題「紅葉」です。師走12月号の兼題は北切雀出題「本」です。

「もみじ」でも「こうよう」でも「紅葉」の文字を入れなくとも可です。

* 神無月10月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。

* 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね!」として投票して下さい。

* 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。

* 霜月11月への投稿、神無月10月号作品への投票の締め切りはともに11月20日です。

短歌、川柳も大歓迎です。

* 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」（五十音順）

池福楼、北切雀、準坊、沈丁花、千泉、久芽、梵木、

写楽句会022（連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com）

© 2017 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

